

成年後見制度の基礎

【認証科目】分野専門 高齢分野・ソーシャルワーク機能別科目群「後見制度の活用」(成年)/2単位

東京社会福祉士会は認定社会福祉士認証・認定機構の認証を受けた研修として、標記の講座を下記により開催いたします(研修認証番号:20160014)。

本講座は、成年後見人に必要な知識・技術を修得し、権利擁護の仕組みとして成年後見制度が活用できることを目的とした研修です。平成28年度までは、公益社団法人日本社会福祉士会の委託集合研修として実施してきました「成年後見人養成研修」に該当する研修ですが、本講座の受講対象者は、後見等を受任する会員だけではなく、利用促進法の基本計画に基づき設置された中核機関において、相談援助を受ける者、後見制度の活用につなげる者、選任された後見人を支援する者が成年後見制度の知識や成年後見人の役割を理解するための研修でもあります。

成年後見制度は、平成28年に施行された「成年後見制度利用促進法」に基づき、平成29年3月に閣議決定された基本計画案に基づき、各市区町村が中核機関の設置と運営に向けて取り組みを始めているところです。地域のなかでチームの一員である成年後見人として、また、地域連携ネットワークの一翼を担う専門職として、どのような視点を持ち、実務を行うか、体系的に学ぶことができる研修となっております。中核機関で実務を行うことが予定されている社会福祉士の皆様もぜひ、受講をお申込みください。

本講座の受講には、基礎研修Ⅲの修了とともに、「支援者のための成年後見制度活用講座」を修了していることが必要となります。また、ばあとなあ東京の成年後見人等候補者推薦名簿に登録を行うことを希望される会員の方は、本講座を修了した後、平成31年1月から開講する「名簿登録研修」の受講が必要となります。

記

1. 日 時

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1日目:平成30年9月9日(日)9:00~17:00 | 2日目:平成30年10月14日(日)9:00~15:00 |
| 3日目:平成30年11月18日(日)9:00~17:00 | 4日目:平成30年12月9日(日)9:00~17:00 |

2. 会 場

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1日目:戸山サンライズ 大会議室 | 2日目:全水道会館 大会議室 |
| 3日目:東京文具共和会館 4階C | 4日目:戸山サンライズ 大研修室B |

3. カリキュラム 別紙参照

講義・演習(22.5時間)

「事前課題」の提出が必要となります。

4. 受講要件 社会福祉士で、下記の要件すべて満たした方

- ① 基礎研修Ⅲ修了者、もしくは平成23年度までの旧基礎研修受講修了した方。
- ② 東京社会福祉士会で実施の「支援者のための活用講座」を修了した方。(平成30年6月~8月開催の同講座修了見込者を含む。ただし、本講座開始時点で修了していない場合は受講できません。)
- ③ 本研修の全講座に出席できる方。

5. 定員 70名

6. 受講料 53,000円(本会会員50,000円・テキスト代別)

7. 申込みおよび受講決定

下記のフォームにて、お申し込みをお願いいたします。

申込締め切りは、8月26日(日)です。

申込URL: <https://formcreator.jp/answer.php?key=rkkMzhIby0mJvoWby9pDOg%3D%3D>

(東京社会福祉士会ホームページからもアクセスしていただけます。)

東京社会福祉士会ホームページ: <http://www.tokyo-csw.org/>

- ① 定員を超えた申込があった場合は、当会会員であり、受任を希望する方を優先します。
- ② 受講可否の連絡は8月末までに郵送にて通知いたします。
- ③ 会場案内、受講料の納入方法、事前課題、及びキャンセル等の扱いについては、受講決定の連絡時にご案内いたします。



【お問合せ先】

公益社団法人東京社会福祉士会 権利擁護センターばあとなあ東京
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル5階

事務担当 俵

TEL 03-5944-8466

E-mail partnerjimu@tokyo-csw.org

成年後見制度の基礎

使用テキスト ①『権利擁護と成年後見実践 第2版』 ②『社会福祉士がつくる身上監護ハンドブック 第2版』 ③『改訂成年後見実務マニュアル』

実施日	課目	内容	講師	時間(分)	使用テキスト		
					①	②	③
9月9日(日)	1 成年後見制度における法制度の動向	1. ノーマライゼーション 2. 障害者権利条約について 3. 最近の動向(成年後見制度利用促進法/意思決定支援にむけた動き等)	新井誠(中央大学法学部教授)	90			
	2 成年後見に関わる機関と相談内容	成年後見に関わる相談を受ける窓口機関の特性や関係機関および他の専門職団体との連携について学ぶ	星野美子(日本社会福祉士会理事 認定社会福祉士)	90	○		
	3 成年後見活動における高齢者支援の対応	認知症高齢者等の実際の相談内容に基づき、成年後見制度の利用開始から後見実務に基づく支援のあり方について学ぶ	後藤 たか子(なぎさと楽苑 地域包括支援センター 熟年相談室)	90			
	4 成年後見活動における障害者支援の対応	知的障害者等の実際の相談内容に基づき、成年後見制度の利用開始から後見実務に基づく支援のあり方を学ぶ	今宮麗子(障害者地域生活・就労支援センターちょうふだぞう)	90			
10月14日(日)	5 成年後見制度における家庭裁判所の理解	家庭裁判所の後見センターの概要と各職種の役割、審判手続き及び監督について学ぶ	東京家庭裁判所後見センター	90	○		
	6 権利擁護センター「ばあとなあ東京」における相談対応ニーズの把握と対応	権利擁護センター「ばあとなあ東京」における成年後見制度に関する相談の実際について、事例を検討しながら理解を深める。	倉谷慶子(権利擁護センター「ばあとなあ東京」センター長)	90	○	○	○
	7 成年後見制度の申立支援	成年後見制度における申立支援とは何か。社会福祉士が果たすべき役割について学ぶ	〃	90	○	○	○
11月18日(土)	8 財産法の基礎	成年後見人等として活動する際に必要な財産法の基礎的知識を修得する。	津波朝日(弁護士)	90	○		○
	9 家族法の基礎	成年後見人等として活動する際に必要な家族法・相続法の基礎的知識を修得する。	〃	90	○		○
	10 財産管理の知識	成年後見人等として必要な財産管理の基本的事項を理解し、具体的な方法を習得する。	矢頭範之(司法書士)	90	○		○
	11 身上監護の知識	成年後見人等として求められる身上監護の考え方を理解し、権限がない事項について留意点に配慮しながら具体的な対応ができる知識を修得する。	三宅美紀(権利擁護センター「ばあとなあ東京」社会福祉士)	90	○	○	○
12月9日(日)	12 後見事務の開始の対応	成年後見人等として審判が確定したのち早期に行う事務について学ぶ。	吉田悦子(権利擁護センター「ばあとなあ東京」社会福祉士)	90	○	○	○
	13 後見事務の終了の対応	終了のパターンを理解し、本人死亡後の死後事務について学ぶ	大熊敏子(権利擁護センター「ばあとなあ東京」社会福祉士)	90	○	○	○
	14 意思決定支援の基本	成年後見制度の対象と考えられる人々に対する意思決定支援とは何かを学ぶ	熊倉千雅(権利擁護センター「ばあとなあ東京」社会福祉士)	90	○	○	
	15 成年後見支援の実際	これまでの科目の総まとめとともに、成年後見人等としての活動を理解する	星野美子(権利擁護センター「ばあとなあ東京」認定社会福祉士)	90	○	○	○